

東京シンフォニエッタ

池辺晋一郎：棚田

池辺晋一郎：君は土と河の匂いがする

鈴木大介 [ギター]

池辺晋一郎：うたげ I, II

加賀ひとみ [メゾソプラノ]

福士則夫：花降る森

三善晃：詩鏡

第53回 定期演奏会

TS

TOKYO SINFONIETTA

2023.7.7 [FRI]

東京文化会館 小ホール

19:00開演 (18:30開場)

全席自由 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

主催

一般社団法人

東京シンフォニエッタ

助成

芸術文化振興基金

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

公益財団法人 NOMURA 野村財団

公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団

お問い合わせ
マネジメント

(株)AMATI 03-3560-3010

東京都港区赤坂1-14-5-S103

<http://www.amati-tokyo.com>



音楽監督 板倉康明	
フルート 斎藤和志 斎藤光晴	
オーボエ 梅枝理恵 辻 功 渡辺康之	
クラリネット 川越あさみ 佐藤和歌子 西澤春代	
ファゴット 河府有紀 多田逸左久 長 哲也	
ホルン 有馬純晴 岸上 稜 中島大之	
トランペット 坂井俊博 高橋 敦	
トロンボーン 西岡 基	
チューバ 渡辺 功	
パーカッション 石崎陽子 松倉利之 和田光世	
ピアノ 藤原亜美	
ハープ 木村茉莉	
ヴァイオリン 梅原真希子 海和伸子 山本千鶴 吉成とも子	
ヴィオラ 百武由紀 守山 ひかる 吉田 篤	
チェロ 宇田川元子 高麗正史 玉川 克▲ 花崎 薫	
コントラバス 那須野直裕 長谷川信久 吉田 秀	
エレクトロニクス 有馬純寿	
事務局 多田逸左久	
▲=エキストラ奏者	

日本を代表する作曲家であるのみでなく、日本の音楽界を牽引してきた池辺氏の作品、特に当時の団体の編成に見合った作品を演奏することにより、その足跡を検証する。同時に池辺氏と同様の活動をし、日本の音楽界に大きな貢献をした、池辺氏の師にあたる三善晃の室内オーケストラ作品、また盟友の福士則夫作品も取り上、これらの作品の検証から次世代に橋渡しをすることを企図している。

東京シンフォニエッタ音楽監督 板倉康明

2023年7月7日 [金]

19:00開演 (18:30開場)

東京文化会館 小ホール

全席自由 (税込)

一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

◎チケット予約

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

イープラス……………<https://eplus.jp> (PC & 携帯)

チケットぴあ……………<https://t.pia.jp> (PC & 携帯)

Pコード [238・645]

ローソンチケット……………<https://l-tike.com/> (PC & 携帯)

Lコード [33593]

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

❶やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。❷いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。❸演奏中は入場できません。❹未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。❺場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。❻ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。❼他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

新型コロナウイルス感染防止へのご協力をお願い
(最新のより詳しい情報は、弊社ホームページにてご確認ください)

【ご来場の際に】

●咳エチケットの実践、入場時に消毒液や検温器が設置されている会場においては、手指消毒や検温にご協力ください。
●発熱等の体調不良の際には、ご入場をご遠慮いただきますようお願いいたします。
●会場内でのマスク着脱はお客様ご自身の判断でお願いします。
●会場内でプラボー等の声援をされるお客様にはマスクの着用を推奨しております。

【その他】

●感染拡大防止のため、当日スタッフから指示があった場合には、ご協力いただきますようお願い申し上げます。
●これらの対策は、感染状況などに照らし、適宜変更されることがございます。

池辺晋一郎

作曲家。日本音楽コンクール、尾高賞などの受賞の他、映画、テレビ等の附帯音楽分野での受賞も多数。04年紫綬褒章。18年文化功労者。22年旭日中綬章。主要作品は交響曲No.1～10、オペラ「死神」「千姫」他。演劇音楽はこれまでに約500本を担当している。現在、東京音楽大学名誉教授、東京オペラシティ・ミュージックディレクター、石川県立音楽堂音楽監督、姫路市文化国際交流財団芸術監督、せたがや文化財団音楽監督をつとめる。



池 邊 晋 一 郎

三善晃

1933年東京生まれ。3歳の頃から自由学園の「子供ピアノ・グループ」でピアノ、ソルフェージュ、作曲を学び、小学校に入った頃から平井康三郎に作曲とヴァイオリンを師事した。1951年東京大学文学部仏文科に入学。在学中の53年、「ソナタ」が第22回日本音楽コンクール作曲部門第1位、54年「ピアノと管弦楽のための協奏交響曲」が第3回尾高賞、文化庁芸術奨励賞を受賞し注目される。55年給費留学生としてパリ音楽院に留学、アンリ・シャラン、レイモン・ガロワ・モンブランに師事。アンリ・デュティユの影響も受ける。57年帰国、東京大学に復学し60年に卒業。この頃から毎年のように大作を発表しており、管弦楽、室内楽、歌曲などのほか、多くの合唱曲がある。とりわけ72年「レクイエム」、79年「詩篇」、84年「響紋」の反戦3部作は三善の中期の代表作として、その名声を不動のものとした。95年から98年まで「夏の散乱」、「鴉つり星」、「霧の果実」、「焉歌・波摘み」と毎年オーケストラ作品を発表、「焉歌・波摘み」では自身6回目の尾高賞を受賞した。99年3月には初めてのオペラ(支倉常長「遠い帆」)を発表、その成果により第31回サントリー音楽賞を受賞。1974年～95年まで桐朋学園大学学長を務める。1996年～2004年まで東京文化会館館長。99年12月芸術院会員となり、2001年11月文化功労者に選ばれる。



福士則夫

1945年東京に生まれる。1969年東京藝術大学大学院修了の年、5人で作曲グループ「白浪」を結成し本格的な作曲活動に入る。1972年文化庁芸術祭優秀賞受賞。翌年フランス政府給費留学生として渡仏。帰国後1977年演奏家・作曲家による団体であるアンサンブル「Vant d'Orient」結成に参画し1983年、同団体として第1回中島健蔵音楽賞受賞。1992年草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルにおいて室内楽作品の個展開催。2004年、2019年にも東京文化会館にて個展開催。2003年には「室内オーケストラの領域Ⅲ」が第3回佐治敬三賞受賞。2008年チベッタ・ラニエリ財団より招聘を受けレジデンスコンポーザーとして渡伊。2011年にはMusic from Japan (MFJ)の招聘により渡米しニューヨーク、ワシントンにおいて新作発表。2018年パリでアンサンブル・アンテルコンタンポランによる新作発表。主要作品はヨーロッパ圏をはじめとし北米、カナダ、アジアなどで演奏されている。これまで日本音楽コンクール審査員、日本現代音楽協会会長、日本音楽作家団体協議会副会長など歴任。CDはカメラータ・トウキョウ、フォンテック、ALM、作品は音楽之友社、全音楽譜出版社などから発売されている。現在、日本現代音楽協会理事、日仏現代音楽協会名誉顧問。



鈴木大介 [ギター]

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。マリア・カナリス国際コンクール第3位、アレッサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。武満徹、池辺晋一郎、猿谷紀郎、西村朗ら、多くの作曲家による新作を初演。最新リリースはART INFINI「シューベルトを讀えて」(2020年)。第10回出光音楽賞、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。

<https://www.daisukesuzuki.com/>



加賀ひとみ [メゾソプラノ]

青森県十和田市出身。東京藝術大学卒業。同大学院修士課程オペラ専攻修了。ズボン役からカルメンまで幅広く活躍するメゾソプラノ。新作オペラでは、『悲戀～ハムレットとオフィーリア』(初演)侍女役、『雪女の恋』(鳥井俊之 作曲／初演)ふぶき役、『バガヴァッド・ギター(神の歌)』(西村朗 作曲／初演)アルジュナ役で出演。『4音オペラ』(トム・ジョンソン 作曲／日本語版世界初演)アルト役は、サントリー芸術財団 第16回佐治敬三賞を受賞。2022年11月には、『御柱』(中村透 作曲)タカテル役に出演。コンサートでは、作曲家・古庄穂子氏のアレンジによる童謡を中心としたリサイタルを各地で開催し、その活躍の場は幅広い。聖徳大学大学院兼任講師。共立女子大学非常勤講師。二期会会員。



© 鷗目幸司